

ご挨拶

昨年は芸道40年で、皆様方には大変お世話になりました。大きな山を越えて、今年



プロフィール

福岡出身。早稲田大学中退。文学座附属演劇研究所を卒業後、一旦女優となるも、二代目神田山陽師匠に出会い弟子入り。1989年真打昇進、古典と同時に創作講談や芝居講談を手がける。2008年、小惑星(12769)が「kandakurenai」と名付けられる。NPO法人金印倶楽部理事 日本講談協会会長

<http://kandakurenai.com/>

後講は、世界遺産登録一周年を記念した創作講談「宗像三女神物語」で、神秘の世界・神代の物語から始まります。

二ツ目になった紅佳さんは、古典講談「春日局」を元気いっぱいに語ります。

そして、今回のゲストは、歌舞伎の三味線方として活躍するかたわら、全国津々浦々で浄瑠璃の魅力を広めていらつしやる野澤松也師匠の登場です。秋の一夜、講談と浄瑠璃で、たっぷりとお楽しみくださいませ。

神田紅

ゲスト



のざわまつや 野澤松也

プロフィール

- 1955年 広島市生まれ
- 1969年 母の勧めで三味線を始める(当時14歳)
- 1972年 国立劇場第一期文楽研修生になる
- 1974年 研修終了。野澤松之輔の内弟子となる
- 同年四月、国立劇場文楽公演「初舞台」
- 1979年 松竹歌舞伎に入る
- 国立劇場『仮名手本忠臣蔵』で歌舞伎の三味線方として初舞台
- 1999年 重要無形文化財総合指定保持者になる
- 2004年 『創作浄瑠璃の会』設立
- 2016年 『三味線粋人ジャパン』設立
- 現在、松竹歌舞伎(東京 歌舞伎座、国立劇場、新橋演舞場、京都 南座、大阪 松竹座、名古屋 御園座、福岡 博多座、等)で演奏。
- 「児雷也豪傑譚話」「NINAGAWA 十二夜」他を作曲。
- 同時に、国立劇場研修生講師、学習院大学非常勤講師を務めるなど、演奏家、講師として活動中
- 舞台を募める傍ら、「日本の伝統文化は地球を救う」をキャチフレーズに掲げ、ライフワークとして、昔話や民話、土地に伝わる話等を浄瑠璃風にアレンジした作品に作曲し、弾き語りで伝えている

上演時間割

18:30 ~ 18:50

『春日局家光養育』

18:50 ~ 19:15

『女優 松井須磨子』

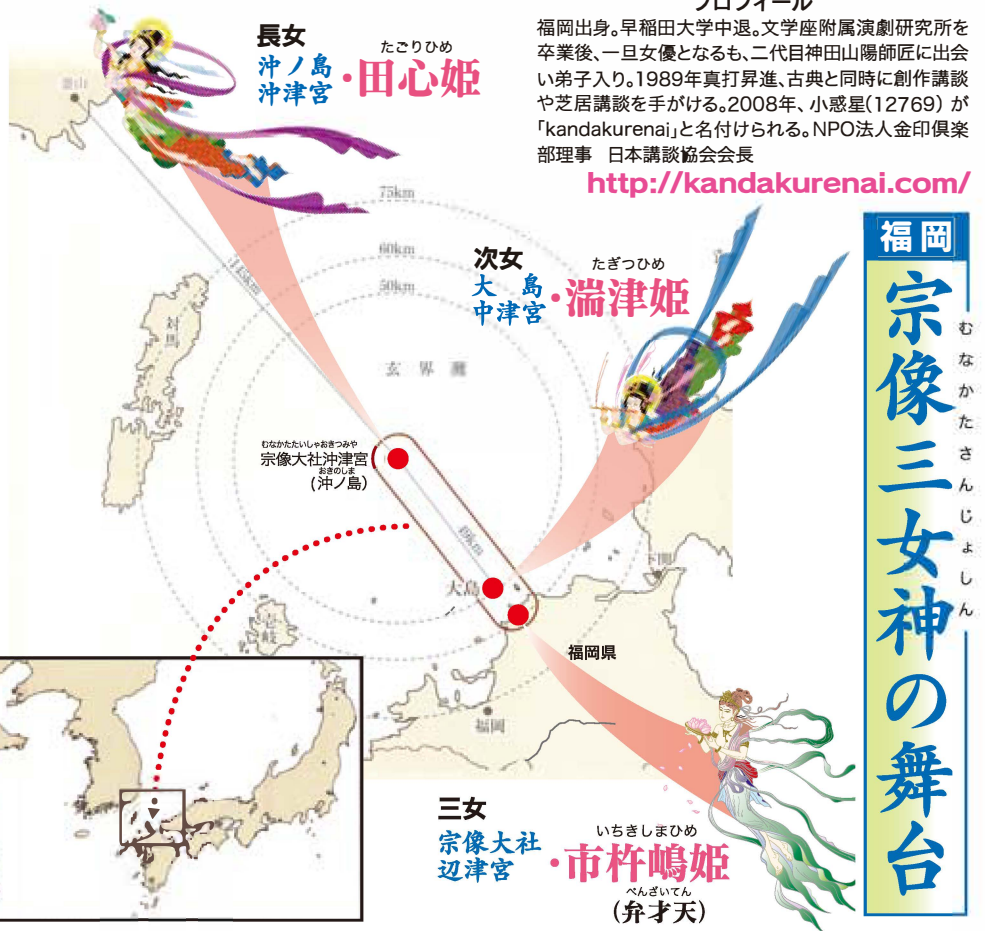
仲入り

19:30 ~ 20:00

浄瑠璃『降積雪六笠地蔵』

20:00 ~ 20:30

『宗像三女神物語』



福岡

宗像三女神の舞台

むなかたさんじよしん

◆神田紅佳

『春日局家光養育』

三代將軍家光(幼名竹千代)の乳母となったおふく(春日局)は、竹千代がわんぱくし放題のため御廃嫡となる噂を聞いて、駿府の家康公に直訴に及ぶが…。

◆神田紅

二代目神田山陽作

『女優松井須磨子』

明治19(1886)年長野市松代町生まれで本名小林正子。数え17歳で上京後、二度の結婚を経て、同42年文芸協会の演劇研究所二期生となり島村抱月と出会う。

「人形の家」の主人公ノラを演じて認められ、抱月と作った芸術座の旗揚げ公演「復活」で全国を回り、歌った主題歌「カチューシャの唄」が大ヒットする。

◆ゲスト 野澤松也

浄瑠璃『降積雪六笠地蔵』

ある村に、ひどく貧しいが心の清い老夫婦が住んでいました。雪の降る寒い大晦日、新年のお餅を買おうと、お爺さんは笠を町に売りに行きますが…このお話には、足るを知る「在るもので幸せに思う」気持ちが大切に描かれています。お爺さんが六地蔵に笠を被せる数え唄に作りました。

◆神田紅

世界遺産登録一周年記念

『宗像三女神物語』

天照大神の三女神は、宗像の地に降りられます。

長女・田心姫は「神宿る島 沖ノ島の沖津宮へ」、次女の湍津姫は大島の中津宮へ、三女の市杵嶋姫は宗像の辺津宮に、それぞれ鎮座されました。三女神を祀る神社は、全国に626社あり、宗像大社は総本宮として信仰を今に伝えています。

演目

仲入り